

「ミゼットハウス」組み立てプレハブ式

志賀町のロイヤルホテル能登で9日、学校法人「ものづくり大学」（埼玉県行田市）の学生がプレハブ式の部屋「ミゼットハウス」の組み立てを実



演した。

ミゼットハウスは1959(昭和34)年に、大和ハウス工業が、数時間で独立して建てられる部屋として発売した。ものづくり大学開学20周年記念事業として、建設学科の三原亨教授(58)の研究室が、大和ハウスグループの大

志賀のホテルで実演

埼玉の学校法人

和リゾートが運営するロイヤルホテル能登に寄贈した。

ホテルのフリースペースで、学生8人が鉄骨や木製パネルを使い、約3時間で高さ2・6メートル、床面積7・4平方メートルの部屋を完成させた。

完成したミゼットハウス

＝志賀町のロイヤルホテル能登